

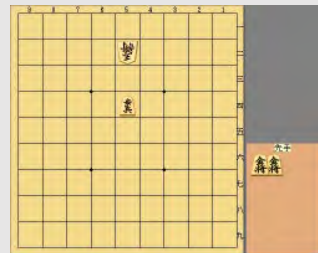
詰将棋による地域将棋人口の拡大と沼津のにぎわい貢献



目的

詰将棋の魅力をもてここに将棋人口拡大とにぎわいをめざす

- 地域将棋人口拡大のために、将棋のルール上にある思考パズル「詰将棋」を使う。
- 他市町からの流入をはかるために「詰将棋」に触れる機会を増やす。
- 「詰将棋」とは？ 将棋のルールを用いたパズル。将棋の終盤力を磨くための練習問題だったが、現在ではパズルとして、指し将棋から独立した一つの分野となっている。



詰将棋

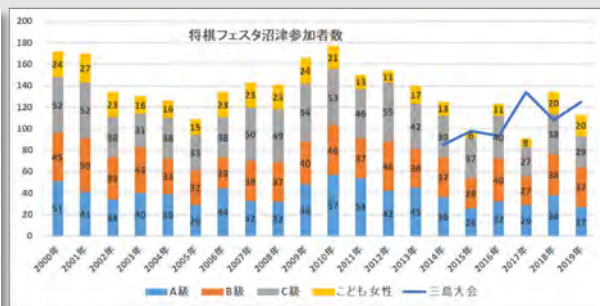
現状

将棋人口は拡大傾向だがイベント集客やにぎわいに結びついていない

- 藤井聡太二冠の活躍などで将棋ブームだが、「観る将」(将棋を指さない将棋好き)の増加の割には、地域将棋大会への参加人数が増えていない。



2009-2018 全国将棋参加人数

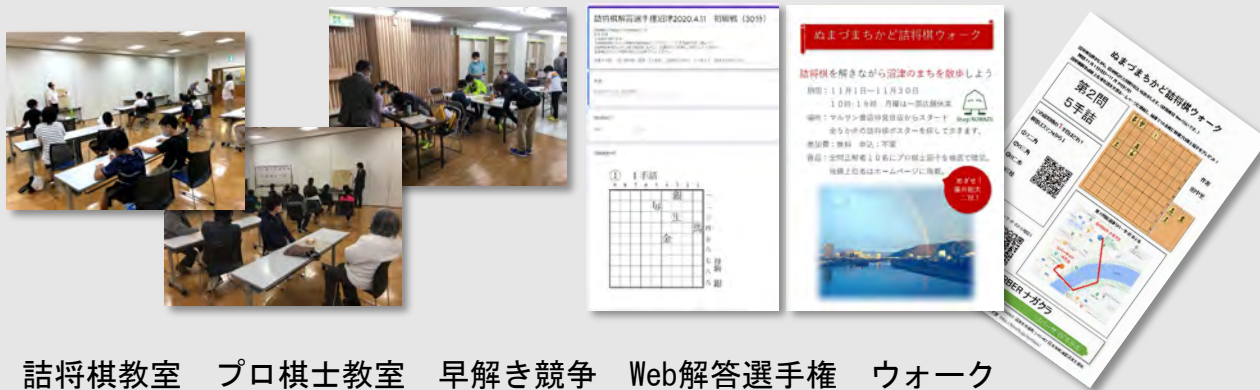


2000-2019 沼津将棋大会参加人数

活動

詰将棋にフォーカスした教室やイベントを実施

- 詰将棋教室 (18回)
- プロ棋士教室 (3月)
- 詰将棋早解き競争 (11月)
- Web詰将棋解答選手権 (4月)
- まちかど詰将棋ウォーク (11月)



詰将棋教室 プロ棋士教室 早解き競争 Web解答選手権 ウォーク

振り返り課題

詰将棋教室により理解度アップ、詰将棋イベントで実力測定

- 9か月の詰将棋教室+プロ棋士指導で地道に実力向上。延べ352名参加。講師以上のスピードで解答する生徒も出てきた。
- 4月の詰将棋解答選手権と11月の詰将棋早解き競争の中間成績を比較すると、参加者数+46%、正答率+2%。
- 「まちかど詰将棋ウォーク」(街を歩きながら詰将棋を解くイベント)はスマホによりリアルとバーチャルの連携が図れ、継続に期待が持てる。参加者25名の93%が「来年も参加したい。」